

名古屋市立大学
人間文化研究所開設6周年記念講演会・シンポジウム

博物館と大学がつくりだす魅力あるまち —市博物館と市立大学の新しい取り組み—

2010年 11月27日(土) 午後1時30分～5時

場所：名古屋市立大学 滝子(山の畑)キャンパス 1号館(人文社会学部棟)201教室

基調講演：

「市民共生の博物館を目指して —九州国立博物館—」

講師：三輪嘉六氏（九州国立博物館館長）

1938年岐阜県生。奈良国立文化財研究所研究員、文化庁主任文化財調査官、東京国立文化財研究所修復技術部長、文化庁美術工芸課長、同文化財鑑査官、日本大学教授などを経て、2005年から現職。専門は考古学、文化財学。現在、文化財保存修復学会会長、NPO法人文化財保存支援機構理事長、NPO法人文化財夢工房理事長、「読売あをによし賞」運営・選考委員など。主な著書に、「日本の美術 家形はにわ」（至文堂、1995年）、「美術工芸品をまもる修理と保存科学」（『文化財を語る科学の眼5』国土社、2000年）、編著に「日本馬具大観」（吉川弘文館、1992年）、「文化財学の構想」（勉誠出版、2003年）など多数。



シンポジウムのテーマ：

「市博物館と市立大学と地域連携で 魅力あるまちづくりをめざして」

パネリスト：三輪 嘉六氏

水谷栄太郎氏（名古屋市博物館副館長）

坂本喜樹氏（瑞穂通商店街青年部役員）

山田 明氏（名古屋市立大学大学院人間文化研究科教授）

司 会：阪井芳貴 人間文化研究所長

一般・学生・研究者

参加費：無料

お問い合わせ先： 名古屋市立大学 人間文化研究所

●メール：institute@hum.nagoya-cu.ac.jp

●FAX：052-872-3536